

2019年1月10~14日

世論調査（朝日、共同、JNN、他）＝紙面別途、憲法、天皇代替わり

自分の孤独死「心配」増加、50%に 朝日世論調査

朝日新聞デジタル磯田和昭、四登敬 2019年1月12日 23時32分

自分が孤独死することを…



を…

朝日新聞社が「人口減社会」をテーマに実施した郵送による世論調査によると、自分の孤独死を心配する人が半数に達した。2010年調査の37%から大きく増えた。

孤独死することが「心配」と答えたのは、「大いに」13%、「ある程度」37%を合わせて50%。現在一人暮らしの人に限ると、67%が「心配」と答えた。

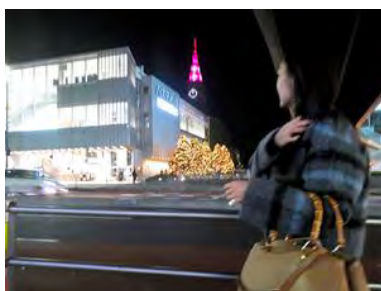
老後に家族が「頼りになる」は48%で、「あまり頼りにならない」の44%と割れた。60代は「あまり頼りにならない」が51%と多かったのに対し、70歳以上は54%が「頼りになる」と答えた。

一人暮らしの世帯は増え続けて…

残り：496文字／全文：742文字

未婚の男女、結婚願望に影落とす収入の壁 ネット調査

朝日新聞デジタル渡辺康人 2019年1月12日 21時41分



— 昨年は婚活パーティーに3

回参加。「結婚したい最大の理由は親を安心させたいから」と話す女性＝JR新宿駅前



結婚はしたいし、婚活は必要だとは思っているが、先立つものが……。朝日新聞社が、25～34歳の未婚者を対象にインターネットで結婚観を調査したところ、こんな本音が垣間見えた。女性の7割は「収入」が結婚相手を選ぶ時の「譲れない条件」と答え、男女のギャップもくっきり表れた。

結婚願望は比較的高かった。「なるべく早く」が27%、「いずれは」の50%を合わせて77%（男性75%、女性80%）。一方で、自分が「いずれは結婚すると思う」人は男性が59%、女性は64%と、願望より控えめだ。年収が低い人ほど、「結婚しないと思う」人が多かった。

年収は交際にも影響しているようだ。男性の場合、「交際相手がいる」人は全体の22%だったが、年収が「100万円未満」に限ると5%、「100万～200万円未満」は8%と1割に満たなかった。

結婚相手を選ぶ時の「譲れない」条件（複数回答）は「人柄」が96%で最も高く、「価値観」の92%が続いた。「収入」は男性の29%に対し、女性は72%と大きく差が出た。

相手に求める年収も、男性の64%が「年収は関係ない」と答えたのに対し、女性は「400万円」が41%と最も多く、6割が400万円以上の金額を挙げた。また、女性の85%が相手選びに正規・非正規などの雇用形態を「意識する」と答えた。

国税庁の民間給与実態統計調査（2017年）によると、男性の平均給与は正規が54.8万円、非正規が22.9万円。非正規の男性には厳しい“条件”だ。

今回のネット調査で聞いた独身の理由（複数回答）でも、男性は「結婚資金が足りない」（67%）と「結婚後の生計が不安」（64%）が、「相手と巡り合わない」（71%）に次いで多い。非正規の男性に限ると、8割がこの二つを理由に挙げた。

一方、結婚したい人の理由（複数回答）は「愛する人と暮らせる」の85%に続いて、「安らぎの場が得られる」「老後に一人でいたくない」がともに77%と多かった。男女で差が出たのは「経済的に安定する」で、男性は45%だったが、女性は74%だった。

た。

「婚活」についても聞いた。結婚願望がある人のうち67%が、自分の相手を見つけるには「婚活が必要」と答えた。一方で経験を聞くと、68%が「したことがない」。「今している」は12%、「していた」も19%しかいなかった。「早く結婚したい」人に限っても、「婚活中」は2割にとどまった。

調査は昨年12月、25～34歳の未婚者を対象に実施。ネット調査会社マクロミルを通じ、登録モニターの1032人から回答を得た。

「深くつきあえば、わかるのに……」

調査結果について、結婚したくてもできない「当事者」の思いを聞いてみた。

東京都内の通信関連の会社に契約社員として勤める男性(33)は言う。

「年収や正規・非正規の違いが、相手選びの基準として、女性からはっきり意識されている。漠然と思っていたことが、示された感じで、しっくりきた」

彼女いない歴10年。実家で暮らし、今年のクリスマス伊ブも、両親らと鍋を囲んで過ごした。

女性の友人とグループで遊ぶ機会はあるものの、「交際となると、壁を感じてきた」。それが収入や雇用形態での「ふるい」だった。

結婚したいとは思いますが、「実際…

残り：871文字／全文：2212文字

世論調査一質問と回答〈11、12月実施〉

朝日新聞デジタル2019年1月12日23時32分

(数字は%。小数点以下は四捨五入。特に断りがない限り、回答は選択肢から一つ選ぶ方式)

自分の孤独死「心配」増加、50%に 朝日世論調査
世論調査

◆まず、いまの政治などについてお聞きします。あなたは、安倍内閣を支持しますか。支持しませんか。

支持する 46

支持しない 46

その他・答えない 8

◆あなたはいま、どの政党を支持していますか。

自民党 37

立憲民主党 8

国民民主党 1

公明党 3

共産党 3

日本維新の会 1

自由党 1

希望の党 0

社民党 1

その他の政党 0

支持する政党はない 42

答えない・わからない 3

◆あなたは、いまの生活にどの程度満足していますか。

大いに満足している 4

ある程度満足している 56

あまり満足していない 32

まったく満足していない 7

その他・答えない 1

◆あなたは、将来の生活について、期待と不安ではどちらの方が大きいですか。

期待の方が大きい 14

不安の方が大きい 80

その他・答えない 6

◆家族に関する次の考え方について、あなたはどう思いますか。

(A) 結婚したら、子どもを持つ方がよい

そう思う 77

そうは思わない 13

その他・答えない 10

◆(B) 子どもが幼いうちは、母親が家で面倒をみる方がよい

そう思う 63

そうは思わない 30

その他・答えない 7

◆(C) 子どもが親の老後の世話をするのは当然だ

そう思う 31

そうは思わない 58

その他・答えない 11

◆(D) 家族とは、困ったときの頼みの綱だ

そう思う 70

そうは思わない 24

その他・答えない 6

◆(E) ペットも家族の一員だ

そう思う 67

そうは思わない 24

その他・答えない 9

◆人は、できるだけ結婚するべきだと思いますか。それとも、必ずしも結婚しなくてもよいと思いますか。

できるだけ結婚するべきだ 48

必ずしも結婚しなくてもよい 50

その他・答えない 2

◆いまの日本では、男性は、結婚することによるメリットが大きいと思いますか。そうは思いませんか。

メリットが大きい 43

そうは思わない 52

その他・答えない 5

◆いまの日本では、女性は、結婚することによるメリットが大きいと思いますか。そうは思いませんか。

メリットが大きい 36

そうは思わない 59

その他・答えない 5

◆夫婦は、夫が主に働いて生活費を稼ぎ、妻が主に家事や子育てをする方がよいと思いますか。そうは思いませんか。

- よい 32
 そうは思わない 62
 その他・答えない 6
- ◆結婚する年齢が上がったり、結婚しない人が増えたりしています。こうした晩婚化や非婚化のいちばんの社会的要因は何だと思いますか。
- 若い人の雇用や収入が安定しないから 30
 結婚に対する価値観が変わったから 36
 経済的に自立している女性が増えたから 16
 一人でも便利に暮らせるようになったから 15
 その他・答えない 3
- ◆いまの日本は、子どもを生み育てやすい社会だと思いますか。生み育てにくい社会だと思いますか。
- 生み育てやすい社会だ 21
 生み育てにくい社会だ 72
 その他・答えない 7
- ◆いまの日本で子どもを生み育てるうえで、いちばん問題だと思うのはどれですか。
- 子育てや教育にお金がかかり過ぎること 47
 仕事と子育ての両立が難しいこと 37
 子育ての環境がよくないこと 11
 その他・答えない 5
- ◆子育てのあり方について、あなたの考えに近いのはどちらですか。
- 家族の責任ですべきだ 34
 社会全体でもっと支えていくべきだ 62
 その他・答えない 4
- ◆子育てにかかる費用を国や自治体が支援するために、あなたの税負担が今より増えてもよいと思いますか。増えるのはよくないと思いますか。
- 税負担が今より増えてもよい 28
 増えるのはよくない 64
 その他・答えない 8
- ◆大学の学費を公費で支援して減免することに賛成ですか。反対ですか。
- 賛成 52
 反対 40
 その他・答えない 8
- ◆いまの日本は、女性が働きやすい社会だと思いますか。働きにくい社会だと思いますか。
- 働きやすい社会だ 35
 働きにくい社会だ 56
 その他・答えない 9
- ◆働く女性がもっと増えた方がよいと思いますか。そうは思いませんか。
- よい 69
 そうは思わない 24
 その他・答えない 7
- ◆働く女性が増えると、少子化が進むと思いますか。そうは思いませんか。
- 少子化が進む 48
 そうは思わない 47
 その他・答えない 5
- ◆男性が育児休業を取るのが当たり前の社会になる方がよいと思いますか。そうは思いませんか。
- よい 69
 そうは思わない 28
 その他・答えない 3
- ◆仕事よりも家庭を優先できるのが当たり前の社会になる方がよいと思いますか。そうは思いませんか。
- よい 60
 そうは思わない 33
 その他・答えない 7
- ◆あなたは、「お年寄り」ということばから、何歳以上の人を思い浮かべますか。
- 60歳以上 5
 65歳以上 12
 70歳以上 42
 75歳以上 24
 80歳以上 15
 その他・答えない 2
- ◆あなたは、生きがいのある老後を送れると思いますか。送れないと思いますか。
- 送れる 37
 送れない 52
 その他・答えない 11
- ◆あなたは老後、どんなことにいちばん不安を感じますか。
- お金のこと 48
 病気やケガのこと 37
 孤独になること 12
 その他・答えない 3
- ◆あなたは自分の老後を考えたとき、家族は頼りになると思いますか。あまり頼りにならないと思いますか。
- 頼りになる 48
 あまり頼りにならない 44
 その他・答えない 8
- ◆あなたは老後、地域での人付き合いをしたいとどの程度思いますか。
- 大いに思う 14
 ある程度思う 60
 あまり思わない 22
 まったく思わない 4
 その他・答えない 0
- ◆SNSやメールなどインターネットを通じた人とのつながりは、あなたの老後の暮らしの充実に役立つと思いますか。役立たないと思いますか。
- 役立つ 46
 役立たない 47

- その他・答えない 7
- ◆一人暮らしの高齢者が増えています。あなたは、年をとって一人暮らしになった場合、生活への不安をどの程度感じますか。
- 大いに感じる 47
ある程度感じる 44
あまり感じない 7
まったく感じない 1
その他・答えない 1
- ◆あなたは、年をとって一人暮らしになったとき、家族以外で頼りになるのはどんな人だと思いますか。
- 友人 26
近所の人 16
地域のボランティアの人 6
福祉サービスの人 36
誰もいない 13
その他・答えない 3
- ◆誰もみとる人がいなくて、死んでもすぐにはわからないような死を「孤独死」といいます。あなたは自分自身が孤独死することをどの程度心配していますか。
- 大いに心配している 13
ある程度心配している 37
あまり心配していない 39
まったく心配していない 9
その他・答えない 2
- ◆あなたは、介護を受けるために住み慣れた地域を離れることによるどの程度抵抗を感じますか。
- 大いに感じる 22
ある程度感じる 43
あまり感じない 27
まったく感じない 6
その他・答えない 2
- ◆あなたの老後の生活で、介護保険制度はどの程度あてになると思いますか。
- 大いにあてになる 6
ある程度あてになる 40
あまりあてにならない 43
まったくあてにならない 8
その他・答えない 3
- ◆自分が認知症になることについて、どの程度不安を感じますか。
- 大いに感じる 37
ある程度感じる 44
あまり感じない 15
まったく感じない 2
その他・答えない 2
- ◆自分が認知症になった場合、どんなことに不安を感じますか。2つまでマルをつけて下さい。
- 家族に負担をかけること 73
他人に迷惑をかけること 31
家族や友人のことが分からなくなること 22
- 日常の行動ができなくなること 49
家計や財産の管理ができなくなること 11
その他・答えない 2
- ◆あなたは、何歳ぐらいまで働くのが理想だと思いますか。
- 60歳より前 4
60歳まで 15
65歳まで 36
70歳まで 26
75歳まで 9
80歳以上 3
その他・答えない 7
- ◆あなたは、生活のために、現実的には何歳ぐらいまで働かなくてはならないと思いますか。
- 60歳より前 3
60歳まで 7
65歳まで 31
70歳まで 33
75歳まで 13
80歳以上 6
その他・答えない 7
- ◆65歳を過ぎても働き続けるのが当たり前の社会はよいと思いますか。よくないと思いますか。
- よい 49
よくない 41
その他・答えない 10
- ◆あなたは、老後の生活資金として公的年金で受け取るお金のどの程度あてになると思いますか。
- 大いにあてになる 12
ある程度あてになる 31
あまりあてにならない 38
まったくあてにならない 17
その他・答えない 2
- ◆公的年金の支給開始は原則として65歳からです。少子高齢化に対応するために支給開始年齢を引き上げることに賛成ですか。反対ですか。
- 賛成 23
反対 69
その他・答えない 8
- ◆社会保障の負担と給付のあり方を考えたとき、これからの日本は次の2つのうち、どちらの方向を目指した方がよいと思いますか。あなたの考えに近い方を選んでください。
- 国民の負担が今より増えても、社会保障の水準を維持する方がよい 50
社会保障の水準は下がっても、国民の負担は今より上がらない方がよい 38
その他・答えない 12
- ◆2019年10月に消費税を10%に引き上げることに賛成ですか。反対ですか。
- 賛成 33

反対 59

その他・答えない 8

◆今回の消費増税が、将来の社会保障制度に対する不安解消につながると思われますか。つながらないと思いませんか。

つながる 18

つながらない 75

その他・答えない 7

◆日本では、高齢者の割合が増えるなかで人口減少が進んでいます。日本の人口減少はどの程度問題だと思いますか。

大いに問題だ 58

ある程度問題だ 34

あまり問題ではない 5

まったく問題ではない 1

その他・答えない 2

◆日本の人口減少について、いちばん問題だと思うのはどれですか。

過疎化が進んで生活が不便になること 9

労働力が減って日本の経済力が落ちること 31

年金や医療など社会保障制度が維持できなくなること 53

地域の伝統や文化が消えてしまうこと 3

その他・答えない 4

◆自分が暮らす地域の過疎化が進んで不便が生じた場合、便利な地域に引っ越したいと思いませんか。不便でも、住み慣れた地域に住み続けたいと思いませんか。

便利な地域に引っ越したい 39

住み慣れた地域に住み続けたい 57

その他・答えない 4

◆過疎化が進む地域の住民に、市街地への転居を促す政策に賛成ですか。反対ですか。

賛成 34

反対 54

その他・答えない 12

◆政府は人手不足の業種を対象に、外国人労働者の受け入れを拡大する方針です。あなたは、外国人労働者の受け入れ拡大に賛成ですか。反対ですか。

賛成 44

反対 46

その他・答えない 10

◆いまの日本は、外国人労働者が地域で暮らしていくための受け入れ態勢が整っていると思いませんか。整っていないと思いませんか。

整っている 7

整っていない 86

その他・答えない 7

◆外国人の住民が増えることは、地域にとってよいことだと思いますか。よくないことだと思いますか。

よい 32

よくない 48

その他・答えない 20

◆外国人労働者とその家族の永住を、今より広く認めていくこと

に賛成ですか。反対ですか。

賛成 40

反対 47

その他・答えない 13

◆あなたは、日本の経済がこれから成長することを期待できますか。期待できませんか。

期待できる 23

期待できない 70

その他・答えない 7

◆経済の成長は、人々が幸せに暮らすために必要だと思いますか。必ずしも必要ではないと思いませんか。

必要だ 67

必ずしも必要ではない 30

その他・答えない 3

◇

〈郵送調査の方法〉全国の有権者から層化無作為2段階抽出法で3千人を選び、郵送法で実施した。全国の縮図になるように337の投票区を選び、各投票区の選挙人名簿から平均9人を選んだ。昨年11月13日に調査票を発送し、12月25日までに届いた返送総数は2087。無記入の多いものや対象者以外の人が回答したと明記されたものを除いた有効回答は2038で、回収率は68%。

有効回答の男女比は男45%、女53%、無記入2%。年代別では18、19歳1%、20代9%、30代12%、40代17%、50代15%、60代19%、70代17%、80歳以上10%、無記入0%。

ネット調査一質問と回答〈12月18、19日実施〉

朝日新聞デジタル2019年1月12日21時43分

（数字は%。小数点以下は四捨五入。質問文と回答は一部省略。

◆は全員への質問。◇は枝分かれ質問で該当する回答者の中での比率。特に断りが無い限り、回答は選択肢から一つ選ぶ方式）

世論調査

未婚の男女、結婚願望に影落とす収入の壁 ネット調査

◆結婚観などについて、おうかがいします。あなたは、結婚したいと思いませんか。

なるべく早く結婚したい27

いずれは結婚したい50

結婚したくない21

その他2

◇（「なるべく」「いずれは」結婚したいと答えた人に）結婚したい理由は何ですか。それぞれについて、あてはまるか、あてはまらないか、お答えください。

○愛する人と暮らせるから

あてはまる85▽あてはまらない15

○子どもがほしいから

あてはまる69▽あてはまらない31

○安らぎの場が得られるから

あてはまる77▽あてはまらない23

- 経済的に安定するから
あてはまる 6 0 ▽あてはまらない 4 0
- 家事など生活が便利になるから
あてはまる 4 3 ▽あてはまらない 5 7
- 親を安心させられるから
あてはまる 7 6 ▽あてはまらない 2 3
- 独身だと肩身が狭いから
あてはまる 4 7 ▽あてはまらない 5 3
- 老後に一人でいたくないから
あてはまる 7 7 ▽あてはまらない 2 3
- ◆自分はいずれ結婚すると思いますか。
いずれは結婚すると思う 6 2
結婚しないと思う 3 3
その他 5
- ◆あなたが結婚していない理由は何ですか。それぞれについて、
あてはまるか、あてはまらないか、お答えください。
- 必要性を感じないから
あてはまる 3 8 ▽あてはまらない 6 2
- 相手と巡り合わないから
あてはまる 7 1 ▽あてはまらない 2 9
- 異性とのつきあいが苦手だから
あてはまる 4 8 ▽あてはまらない 5 2
- 結婚資金が足りないから
あてはまる 5 5 ▽あてはまらない 4 5
- 結婚後の生計が不安だから
あてはまる 5 3 ▽あてはまらない 4 7
- 家族を持つことや子育てが不安だから
あてはまる 5 2 ▽あてはまらない 4 8
- 独身の生活が楽しいから
あてはまる 5 6 ▽あてはまらない 4 4
- 仕事や勉強に打ち込みたいから
あてはまる 2 7 ▽あてはまらない 7 3
- ◆あなたが結婚相手を選ぶときに「譲れない」条件は何ですか。
それぞれについて、あてはまるか、あてはまらないか、お答えく
ださい。
- 人柄
あてはまる 9 6 ▽あてはまらない 4
- 容姿
あてはまる 5 8 ▽あてはまらない 4 2
- 年齢
あてはまる 4 9 ▽あてはまらない 5 1
- 価値観
あてはまる 9 2 ▽あてはまらない 8
- 収入
あてはまる 5 0 ▽あてはまらない 5 0
- 家事や育児
あてはまる 6 5 ▽あてはまらない 3 5
- 自分の親との相性
あてはまる 5 3 ▽あてはまらない 4 7

- 相手の親との別居
あてはまる 5 5 ▽あてはまらない 4 5
- ◆結婚相手を選ぶ条件として、正規雇用か非正規雇用かといった、
相手の雇用形態を意識しますか。意識しませんか。
大いに意識する 2 8
ある程度意識する 3 2
あまり意識しない 2 4
まったく意識しない 1 5
その他 1
- ◆あなたが、結婚する相手に求める年収はいくら以上ですか。
年収は関係ない 4 2
2 0 0 万円以上 1 8
4 0 0 万円以上 2 7
6 0 0 万円以上 9
8 0 0 万円以上 2
1 千万円以上 2
その他 0
- ◆女性の結婚後の就業についてうかがいます(男性は自分の妻を
想定してお答えください)。もし「理想」がかなうとしたら、結
婚や出産後の働き方は、次の中でどれを選びたいですか。
結婚や出産後も仕事を続ける(育休を取る場合も含む) 5 5
結婚や出産を機に仕事を辞め、いずれまた働く 3 1
結婚や出産を機に専業主婦になる 1 2
その他 2
- ◆それでは、「現実の予想」としては、結婚・出産後の働き方は、
次の中のどれになるとお考えですか(男性は自分の妻を想定してお
答えください)。
結婚や出産後も仕事を続ける(育休を取る場合も含む) 5 4
結婚や出産を機に仕事を辞め、いずれまた働く 3 4
結婚や出産を機に専業主婦になる 9
その他 3
- ◆夫婦は、主に夫が働いて生活費を稼ぎ、妻が主に家事や子育て
をする方がよいと思いますか。そうは思いませんか。
よい 3 9
そうは思わない 5 5
その他 6
- ◆あなたにとって、交際につながる出会いの機会は、多いですか。
少ないですか。
とても多い 2
やや多い 9
やや少ない 2 4
とても少ない 6 4
その他 1
- ◆自分の結婚相手を見つけるには、婚活は必要だと思いますか。
必要だ 5 8
必要でない 3 8
その他 4
- ◆あなたは婚活をしたことがありますか。
今している 1 0

過去にしたが今はしていない16

したことがない74

その他0

◇(「今している」「過去にした」と答えた人に)あなたが婚活として行ったことは何ですか。それぞれについて、あてはまるか、あてはまらないか、お答えください。

○結婚情報サービス・婚活サイトに登録

あてはまる56▽あてはまらない44

○友人知人に紹介を依頼

あてはまる59▽あてはまらない41

○お見合い

あてはまる16▽あてはまらない84

○婚活パーティーに参加

あてはまる53▽あてはまらない47

○趣味のサークルに参加

あてはまる24▽あてはまらない76

○合コンに参加

あてはまる61▽あてはまらない39

◆結婚する年齢が上がったり、結婚しない人が増えたりしています。こうした晩婚化や非婚化の一番の社会的要因は何だと思えますか。

若い人の雇用や収入が安定しないから32

結婚に対する価値観が変わったから32

経済的に自立している女性が増えたから16

一人でも便利に暮らせるようになったから18

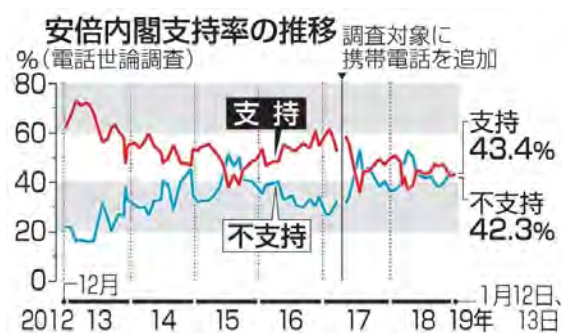
その他2

◇

〈インターネット調査の方法〉マクロミル社の120万人の登録モニターのうち、25～34歳の未婚の人に昨年12月18～19日にネット上で調査した。男女比、20代と30代が、それぞれ半数ずつになるよう割り付け、計1032人から回答を得た。回答者の職業は正規雇用49%、非正規雇用28%、自営業3%、無職17%、学生1%。

勤労統計で政府不信78% 新元号4月公表、66%評価

2019/1/13 17:43 共同通信社



安倍内閣支持率の推移

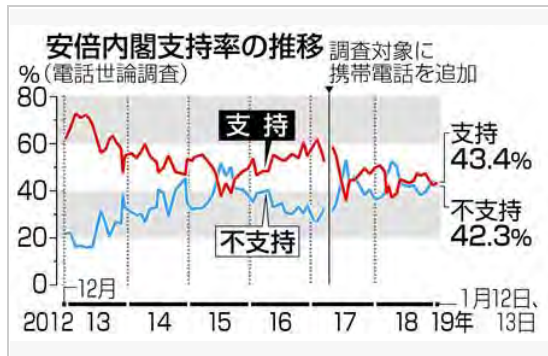
共同通信社が12、13両日に実施した全国電話世論調査によると、厚生労働省の「毎月勤労統計」の不適切調査問題を受け、政府統計を「信用できない」との回答は78.8%に上った。「信用で

きる」は10.5%。根本匠厚労相の対応や説明に「納得できない」は69.1%、「納得できる」は18.0%だった。

5月1日の新天皇即位に伴って改める新元号を4月1日に公表すると表明した安倍晋三首相の方針を「評価する」は66.2%、「評価しない」は23.1%。安倍内閣の支持率は43.4%で昨年12月15、16両日の前回調査から1.0ポイント増。不支持は42.3%だった。

政府統計「信用できず」78% 共同世論調査 厚労相説明69%不満

東京新聞2019年1月14日 朝刊



共同通信社が十二、十三両日に実施した全国電話世論調査によると、厚生労働省の「毎月勤労統計」の不適切調査問題を受け、政府統計を「信用できない」との回答が78.8%に上った。「信用できる」は10.5%。根本匠厚労相の対応や説明に「納得できない」は69.1%、「納得できる」は18.0%だった。

五月一日の新天皇即位に伴って改める新元号を四月一日に公表すると表明した安倍晋三首相の方針を「評価する」は66.2%、「評価しない」は23.1%。安倍内閣の支持率は43.4%で昨年十二月十五、十六両日の前回調査から1.0ポイント増。不支持は42.3%だった。

毎月勤労統計は雇用保険や労災保険といった国民にとって重要なセーフティーネットと深く関わっているだけに、世論調査結果からは、政府のずさんな対応への国民の不信感が高まっていることがうかがえる。

韓国の元徴用工訴訟判決を巡り、賠償問題は解決済みとして判決に抗議している日本政府の対応を「支持する」は80.9%、「支持しない」は11.3%だった。

普段の生活や仕事で元号と西暦のどちらを主に使いたいかを聞いたところ、両方を使いたい39.8%、西暦34.6%、元号24.3%の順だった。

新元号公表の首相方針を評価しないと答えた人に理由を聞くと「四月一日より早い時期の公表が望ましいから」64.9%、「新天皇即位と同時が望ましいから」22.8%、「元号は不要だから」9.3%だった。

消費税率10%への引き上げに合わせ、外食・酒類を除く飲料品と定期購読の新聞の税率を8%に据え置く軽減税率制度を「よく理解している」は3.4%、「ある程度理解している」は40.6%。「あまり理解していない」は40.5%、「ほとんど

理解していない」は14・5%。

夏の参院選比例代表の投票先は、自民党31・9%、立憲民主党9・4%。公明党3・5%、共産党3・2%、日本維新の会2・5%、国民民主党1・9%など。

政党支持率は自民党が前回比2・6ポイント減の36・0%、立憲民主党は2・3ポイント減の9・2%。公明党2・8%、共産党2・4%、日本維新の会2・4%、国民民主党1・4%、自由党0・6%、社民党0・4%、希望の党は回答がなかった。「支持する政党はない」とした無党派層は43・5%。

JNN1月14日1時47分

JNN世論調査、厚労省の不適切調査「問題だ」86%

厚生労働省が行う賃金などの調査が不適切な方法で行われていたことについて、「問題だ」と考える人が86%に上ることがJNN世論調査でわかりました。

安倍内閣を支持できるという人は、先月の調査結果より2・0ポイント減って50・8%でした。一方、支持できないという人は、1・2ポイント増えて45・5%でした。

雇用保険の失業給付などの計算に使われる「毎月勤労統計」について、先週、厚労省は15年前から不適切な手法で調査を行っていたことを明らかにしました。これについて「問題だ」と答えた人は、「非常に」と「ある程度」を合わせて86%に上りました。

海上自衛隊の哨戒機が韓国軍の艦船から火器管制レーダーの照射を受けた問題で、韓国政府は照射していないと主張していますが、韓国側の主張に納得できるか聞いたところ、「納得できない」と答えた人が87%に上り、「納得できる」は2%でした。

また、韓国側は海自の哨戒機が「危険な低空飛行をした」と主張していますが、この主張に納得できるかどうか聞いたところ、「納得できない」が81%でした。

今月と6月には日ロ首脳会談が行われる予定ですが、これらの首脳会談を通じて北方領土問題が進展すると思うか聞いたところ、「進展すると思わない」が75%に上りました。

5月1日に新天皇が即位し、元号が変わりますが、新たな元号を改元の1か月前の4月1日に公表するという政府の方針について、「賛成」が67%で「反対」が14%でした。

7月の参議院選挙に合わせて衆議院選挙も同時に実施するという案が取りざたされていますが、衆参同日選挙を行うべきか聞いたところ、「行うべき」は30%で、「行うべきではない」が38%でした。

新成人、未来は「明るい」4割弱 「暗い」は62.8%

2019/1/12 05:23/13 14:54 updated 共同通信社



2018年1月8日、東京ディズニーランドで開かれた千葉県浦安市の成人式

東京五輪や国際博覧会(万博)を控え、日本の未来は「明るい」と考えている新成人は37.2%。インターネット調査会社「マクロミル」(東京)が、今年成人式を迎える500人を対象に実施したアンケートでこんな結果が出た。「明るい」を選んだ割合は2年連続で増加したものの「暗い」は62.8%に上った。

調査は昨年12月18、19日にネット上で実施し、今回で12年目。同社の担当者によると、「明るい」の理由として、2020年東京五輪・パラリンピックや25年大阪万博の開催を挙げる人が多かった。

一方で「暗い」の理由には少子高齢化への不安や政治問題が目立った。

「成人式は20歳」17~19歳の74%支持 日本財団調査

毎日新聞2019年1月13日21時32分(最終更新1月14日06時06分)



式典を終え、笑顔で記念写真に納まる厚真町の新成人たち＝北海道厚真町で2019年1月13日午後0時27分、竹内幹撮影

日本財団(東京都港区)は昨年12月、17~19歳の男女800人に意識調査を実施した。成人式にふさわしい年齢を尋ねたところ、「20歳」が74.0%だったのに対し、「18歳」は23.9%にとどまっており、若者には従来通りの「20歳成人式」が支持されている状況が浮かんだ。

調査では、20歳を選択した理由についても質問(複数回答)。最多は「18歳だと受験に重なる」で62.8%。また、「18歳だと就職の準備がある」との回答も23.8%あった。

一方、引き下げで生じる課題の対応策を検討する関係省庁横断の連絡会議が昨年4月に議論を始めており、年齢についても成人式に関連する業界などからヒアリングしている。

「日本きもの連盟」(奥山功会長)は成人式について、引き下げ後も「20歳を対象に成人の日の開催がふさわしい」とした。理由として、18歳はほぼ全員が高校生▽飲酒やギャンブルは20歳——であることなどを挙げ、「成年としての環境がほぼ整う時期が式典にふさわしい」とした。

かつて新成人として式典開催に携わった東京都中央区の「新成人のつどい実行委員会 OBOG会」(米倉美寿々会長)は、18歳で成人式を行うメリットを「着飾らなくても学校の制服で参加すれば良く、家庭の経済的負担が軽減される」ことなどを挙げる一方、デメリットを「1月開催の場合は受験を控える高校3年生は出席が難しい」などと指摘した。

石破氏、首相は9条改憲案説明を 札幌市で討論会

2019/1/12 21:49 共同通信社



討論会で発言する自民党の石破茂元幹事長＝12日午後、札幌市

自民党の石破茂元幹事長は12日、札幌市で憲法改正を巡る討論会に出席し、戦力不保持を規定する9条2項を維持したまま自衛隊を明記する自民党改憲案に関し、安倍晋三首相が十分に説明すべきだとの考えを示した。同じ討論会で立憲民主党の山尾志桜里氏は、9条改憲で自衛隊の権限や任務は変わらないとする首相の主張は「正直でない」と批判した。

石破氏は自衛隊明記案には「かなり違和感がある」とした上で「憲法は誰が読んでも分かるものであるべきで、解釈の振れ幅が大きいのはよくない」と指摘した。

共産党の仁比聡平氏は「自民党が目指すのは、日本を海外で戦争する国に変えることだ」とした。



討論会で発言する立憲民主党の山尾志桜里氏＝12日午後、札幌市

首相の改憲案に疑義 自民・石破氏と立憲・山尾氏が同調

朝日新聞デジタル岡本智、中崎太郎 2019年1月12日 22時28分



憲法改正をテーマにした札幌弁護士会の集會に参加した自民党の石破茂元幹事長(左)と立憲民主党の山尾志桜里衆院議員＝2019年1月12日、札幌市中央区、中崎太郎撮影

士会の集會に参加した自民党の石破茂元幹事長(左)と立憲民主党の山尾志桜里衆院議員＝2019年1月12日、札幌市中央区、中崎太郎撮影

自民党の石破茂元幹事長と立憲民主党の山尾志桜里衆院議員は12日、札幌市内の集會(札幌弁護士会主催)で憲法9条改正などについて議論した。安倍晋三首相が意欲を示す9条への自衛隊明記について、石破氏は「かなり違和感を感じている」と表明。

山尾氏も「(自衛隊違憲論を払拭〈ふっしょく〉するという首相の) 目的は達成できない」などと同調した。

首相は自衛隊を明記することについて「自衛隊の任務や権限に変更が生じるものではない。何も変わらない」との考えを示している。これに対し、石破氏は「自民党が国会提示を目指す『改憲4項目』とはかなり距離があるのではないかと指摘。『解釈でも振れる幅が大きいのは、立憲主義の観点からも決して良いことではない』としたうえで、「(戦力、交戦権は持たないとする) 9条2項に書いてあることを(自衛隊を明記する) 3項でひっくり返すのは、日本国の憲法としてかなり違和感を感じている」と話した。

山尾氏は「(自衛隊を) 違憲だと言う人はずっと違憲の立場に立つと思う。(首相の) 目的は達成できない」などと応じ、首相の改憲論を「『自衛隊の発動要件を憲法で縛る必要はない。その時々政権が法律で決めればいい』というものだ」と批判した。

石破氏と山尾氏は、9条2項が否定する「交戦権」をめぐる議論の必要性についても足並みをそろえた。

石破氏は「自衛権の行使は一体、何が認められて、何が認められないのか。きちっと議論されなければならない」と指摘。山尾氏は「自衛権のラインを国民みんなで考える。交戦権の一部を行使することだと直視すべきだ」と述べた。

また、集団的自衛権の行使を容認する安全保障法制について、石破氏は文民統制のもとに(交戦権などを規定する) 安全保障基本法をつくって日米地位協定や日米安全保障条約を見直すべきだと主張。山尾氏は首相の姿勢を問題視し、「安保法制成立後も米国に対等にもものを言っていく行動につなげていない」と話した。

集會には共産党の仁比聡平参院議員も参加。「自民改憲素案が目指すのは、海外で戦争する国に変えようということ。それを許して良いのが今日(こんにち)の対決点だ」などと訴えた。(岡本智、中崎太郎)

9条改憲案「首相説明を」 討論会で石破氏

日経新聞 2019/1/12 21:20

自民党の石破茂元幹事長は12日、札幌市で憲法改正問題を巡る討論会に出席し、戦力不保持を規定する9条2項を維持したまま自衛隊を明記する自民党改憲案に関し、安倍晋三首相が十分に説明すべきだとの考えを示した。同じ討論会で立憲民主党の山尾志桜里氏は、9条改憲で自衛隊の権限や任務は変わらないとする首相の主張は「正直でない」と批判した。

石破氏は自衛隊明記案には「かなり違和感がある」とした上で「憲法は誰が読んでも分かるものであるべきで、解釈の振れ幅が大きいのはよくない」と指摘した。

山尾氏は、自民党案が実現しても自衛隊の違憲論争は続くと強調。一方で「議論を封じることで展望は開けない」と述べ、野党側も改憲論議から逃げるべきではないとの見解を表明した。

討論会には共産党の仁比聡平氏も参加し「自民党が目指すのは、日本を海外で戦争する国に変えることだ。許していいのか」と訴え、9条を守るべきだとした。

3氏は衆参憲法審査会の幹事や委員を務める。

〔共同〕

「自民改憲案に違和感」 石破氏、立民・山尾氏らと批判

産経新聞 2019.1.12 19:16



札幌弁護士会が主催した憲法

討論会に臨む（左から）自民党の石破茂、立憲民主党の山尾志桜里、共産党の仁比聡平の3氏＝12日午後、札幌市中央区（田中一世撮影）

自民党の石破茂元幹事長は12日、札幌市で憲法改正をめぐる討論会（札幌弁護士会主催）に出席し、憲法9条に自衛隊を明記する自民党改憲案について「違和感がある」と批判し、安倍晋三首相（党総裁）らに説明を求めた。同席した立憲民主党の山尾志桜里衆院議員と共産党の仁比聡平参院議員も改憲案を批判した。

石破氏は「安倍さんは（自衛隊の権限などが）『何も変わらない』というのが本当か。誰か答えてほしい。『私は総理なので（答弁できない）』というので代わりに指名していただいても結構だ」と述べた。

その上で「（戦力不保持を定めた）2項を（自衛隊明記で）ひっくり返すのは日本国の憲法としてふさわしいか。かなり違和感がある」とも指摘した。

山尾氏も、自民党改憲案を「『自衛隊と書けば誇りを与えられる』とっている時点で非常にばかにした話だ」と語り、首相の「正直」な説明を求めた。一方で「議論を封じることでは展望が開けない」とも述べ、国会の改憲議論にも前向きに取り組む考えを示した。

仁比氏は「『何も変わらない』というのは嘘だ」と語った。

国民投票、CM規制必要＝自民党の石破氏

時事通信 2019年01月12日19時54分

自民党の石破茂元幹事長は12日、札幌市で憲法改正に関する討論会に出席し、国民投票期間中のCM規制に関し、「賛成も反対もどんな意見も平等な機会が与えられることについてどのように工夫を凝らすかが大事だ。きちっと理性で判断できる情報提供をやるべきだ」と述べ、ルール整備が必要との考えを示した。

憲法改正で伊吹元衆院議長「各党が議論し、世論喚起を」

産経新聞 2019.1.14 21:57



伊吹文明氏（春名中撮影）

自民党の伊吹文明元衆院議長は14日のBS-TBS番組で、憲法改正に関し「各党がいろいろな案を持ち寄って議論することで、世論を喚起しなければならない」と述べた。自民党に対しても「もう少し謙虚に出て、国会で議論すべきだ」と指摘した。

伊吹氏は、憲法9条に自衛隊を明記する自民党改憲案について「（国会の憲法審査会に）議案として提出するわけではなく、一つの考えだ」と強調。「（憲法の）何が問題かを（各党で）議論しようという段階だ」と述べた。

「政党の変化多すぎる」 衆院議長、野党に苦言

産経新聞 2019.1.10 16:42



大島理森衆院議長

大島理森衆院議長は10日、玉川大（東京都町田市）で講演し、今月下旬召集の通常国会を控え、離合集散を繰り返す野党に苦言を呈した。「政党の変化があまりにも多すぎる。政党に対する国民の信頼感がなくなる」と述べた。政権与党に正面から対峙できる野党の存在が民主主義には不可欠だとの考えも示した。

講演は1年生が対象。大島氏が政党名を挙げて聞いたところ、野党を知っていると挙手する学生が少なかったことから「野党は街頭演説だけでなく、こういう場に出て『なぜ評価が低いんだ』と考えるところから頑張してほしい」とエールを送った。

憲法にも触れ、改正には与野党の幅広い合意形成が必要だと強調。「皆さんも大学の4年間で、憲法をぜひ一度は読んでほしい」と呼び掛けた。

「歌の力」で改憲機運高め 自民党名物職員、オリジナル改憲ソングをリリース

産経新聞 2019.1.11 15:45



憲法改正ソングをリリースする自民党の田村重信氏（原川貴郎撮影）

「歌手」としての横顔を持つ自民党の名物職員が、憲法改正をテーマにしたオリジナル曲をリリースする。国会の憲法論議は停滞しているが、「歌の力」で改憲の機運は高まるか。

改憲ソングを世に送り出すのは、自民党の安全保障政策を長年、理論面で支えてきた田村重信氏（65）。昨年1月の定年退職後、昨夏から囑託として復帰した田村氏は、安保や憲法、論語などに関する著書が約50冊（共著含む）あるのに加え、これまでにシ

ングルCD 2枚を出したことがある異色の党職員だ。

PR

田村氏の憲法論をもとに、歌手の杏里さんへの楽曲提供などで知られる旧知の音楽プロデューサー・作曲家、坂本裕介氏が作詞・作曲を担当。フォークソングを現代風にアレンジした曲調の新曲「憲法よりも大事なもの」が完成した。

タイトルや歌詞には「憲法は大事だが、国民が幸せに暮らすための道具に過ぎない。身体が大きくなれば洋服を変えるように、憲法も時代に合わせて変えていくものだ」（田村氏）とのメッセージがある。

1月下旬に大手通販サイト「アマゾン」などでCDの発売を予定。動画投稿サイト「ユーチューブ」で先行公開している。田村氏は「憲法に関心がない人や改憲反対の人にこそ聴いてもらいたい」と話している。

伊勢市が神宮参拝呼び掛け 政教分離指摘で旗撤去

日経新聞 2019/1/10 19:32

伊勢神宮がある三重県伊勢市などでつくる任意団体が、天皇陛下の退位などに合わせて国民全体に同神宮への参拝を呼び掛けるような内容ののぼり旗を市役所前などに掲げ、「憲法の政教分離の原則に反する」との指摘を受け撤去していたことが10日、市への取材で分かった。



国民に伊勢神宮参拝を呼び掛けるような内容ののぼり旗(伊勢市提供) =共同

市によると、のぼり旗は市や伊勢商工会議所などが設立した任意団体「御大礼奉祝委員会」が、陛下の退位や皇太子さまの新天皇への即位を祝う目的で500本作製。「平成感謝 国民総参宮」との文字が書かれ、昨年末から市役所や商工会議所前、神宮の最寄りの近鉄五十鈴川駅などに計59本を設置した。

市は委員会の活動費として298万円を負担している。

今月8日に記者会見で指摘を受けた鈴木健一市長が「誤解を招きかねない表現で不適切だった」として撤去を指示、同日中に全てが撤去された。

市の担当者は「市として特定の宗教を優遇する意図はなかったが、今後は政教分離を意識しながらどのような活動を行うか考えたい」と話している。〔共同〕

<まる見えリポート>伊勢・参宮のぼり旗撤去 改元控え揺れる市観光部

伊勢新聞 2019-01-14 まる見えリポート、特集

皇室と関わりの深い伊勢神宮がある三重県伊勢市で、5月の改元

を祝うため、市や伊勢商工会議所など官民でつくる御大礼奉祝委員会(会長・鈴木健一市長)が市役所など市内4カ所に設置した「国民総参宮」ののぼり旗を、市が政教分離の観点から「不適切」と判断し、全て撤去した問題で、市の観光部門が揺れている。「伊勢を紹介する上で伊勢神宮は欠かせない存在」(市観光部門幹部)として積極的に関わってきたからだ。



【御大礼奉祝委員会が設置

し、政教分離の観点から「不適切」として、撤去されたのぼり旗＝伊勢市役所で(1月8日撮影)】

市産業観光部によると、のぼり旗の撤去を受け、同部では観光事業と宗教との関わりについて神経質になっているという。例えば、毎夏開催し、昨年66回目を迎えた伊勢神宮奉納全国花火大会(市など主催)。職員からは「市が関わる事業で奉納という言葉を使っているのか」と疑問の声が上がっているという。

「それぐらい神経質になっている。観光PRで伊勢神宮を外すことは考えられないが表現には敏感にならざるを得ず、現場が萎縮しないか心配だ」と話すのは同部の須崎充博理事。市営海水浴場の海開きの安全祈願祭に公費の投入がないかなども確認したといい「これまでの観光行政のあり方に問題がなかったかを一から見直している」。

のぼり旗を設置した同委員会は昨年6月に発足。会長を鈴木市長が務め、上島憲商議所会頭が委員長を務める。年間を通じ、さまざまな奉祝事業を展開する予定で、その第一弾がのぼり旗の設置だった。市役所や商議所、市内の主要駅に先月28日、計59本を設置したが、報道陣からの指摘を受け10日ほどで撤去することになった。

問題となったのは「国民総参宮」の表現と、のぼり旗を市役所に設置したこと。鈴木市長は「憲法上問題は無いが」特定の宗教への参拝を促すかのような「誤解を招きかねない表現」と判断し、委員会に市役所への設置を許可したことを「不適切」と認めた。今回の撤去を受け、同委員会も今後の対応を検討しており、21日に商議所で会議を開いて協議する。他団体が主体となつてのぼり旗を再使用することなども検討しているという。

また、委員会は4月に現在の天皇陛下への感謝、10月には新陛下への祝いの意味で、伊勢神宮内宮に記帳所を設ける予定だったが「参拝の誘導につながるのではないかな」との懸念から、同日の議題に加え、のぼり旗の扱いと合わせて協議する。

皇室と縁の深い伊勢だからこそ発足した委員会だが、スタートからつまづいた格好だ。観光分野への波及を含め、問題にどう決着をつけるかが注目される。

皇學館大現代日本社会学部の新田均教授(憲法学)は「どこの市

町でも著名な寺社仏閣を地域の活性化につなげるために広報している。市が観光振興のために伊勢神宮を広報することは、特定の宗教の信仰を助長する行為ではなく、政教分離の原則に反しているかを問う『目的効果基準』から見て何の問題も無い」と指摘している。

<代替わり考 皇位継承のかたち> (4) 大嘗祭に国費 違憲可能性

東京新聞 2019年1月11日 朝刊

1990年11月、皇居・東御苑で行われた「大嘗祭」



「天皇家の内部から、こういう発言が出てくるとは感慨深い」。元裁判官の井戸謙一弁護士(64)は、大嘗祭(だいじょうさい)をめぐる秋篠宮さまの発言に時代の変化を感じている。かつて井戸は大阪高裁で、平成の代替わり儀式への国費支出の是非が問われた訴訟の審理を担当した。

大嘗祭は戦前の旧皇室典範や登極令(とうきょくれい)に明文化されていたが、戦後すべての法令から消えた。元内閣官房副長官の石原信雄(92)によると、今回は憲法学者や宗教学者からヒアリングを行い、大論争となった。最終的に政府の責任で、憲法に皇位の世襲制を定めていることから「公的性格が強い皇室行事」と位置づけ、国費でサポートした。

一九九五年三月、大阪高裁は一審と同様、原告の慰謝料請求などを退けた。ただし、判決の結論に影響しない「傍論」で、大嘗祭と即位礼正殿の儀への国費支出を「ともに憲法の政教分離規定に違反する疑いは否定できない」と指摘した。

判決原案を書いたのは、主任裁判官の井戸だった。あえて傍論で憲法判断に踏み込んだ理由を「結論に関係がなくとも、できる範囲で答えるべきだと考えた」と明かす。裁判長ら三人の合議でも異論は出なかったという。

国を相手に儀式への国費支出の合憲性を争う集団訴訟は他になく、全国の千人以上が原告として参加した。原告側は「実質勝訴」として上告せず、判決を確定させた。このため国費支出の合憲性について最高裁の判断は出されていない。

大阪高裁判決から二十四年を経て、政府は新天皇の大嘗祭を再び国費で行う。一部の有識者から内々に意見聴取しただけで、国民的な議論はなく、前例をほぼ踏襲した。関係経費は二十七億円を超え、前回より五億円近く膨らむ。

「宗教色が強いものを国費で賄うことは適当かどうか」。秋篠宮さまは昨年十一月、五十三歳の誕生日会見で政府方針に疑問を示した。天皇家の私的費用の範囲内で「身の丈に合った儀式」とするのが、本来の姿であるとの持論を語った。

発言の趣旨は、天皇、皇后両陛下の姿と重なる。宗教学者の島藺進(70)は「今の天皇は、皇室を現代化する中で、国民の負担軽減と国民との距離を縮めるということを言ってきた。秋篠宮発言の意味は長期的に考えていくべき課題だ」と指摘する。

天皇が憲法に定める象徴の地位を安定的に維持するには、国民の理解と支持が不可欠だ。井戸は「皇室行事に国費を使うのは理屈上、筋が通らない。皇室への国民の理解や支持を失わせ、自分たちの地位や立場を危うくするという危機感が発言の背景にあるのではないか」と推し量る。

昨年十二月、国費支出に反対する宗教者と市民約二百四十人が東京地裁に提訴した。原告には大阪訴訟の経験者もあり、最高裁まで争うことも視野に入れる。＝敬称略

<代替わり儀式と住民訴訟> 前回は、県知事らの儀式参列が憲法の政教分離原則に反するとして出張費の返還を求める住民訴訟が各地で起きた。最高裁は2002年、大嘗祭の宗教性を認めた上で「目的効果基準」に照らし、目的は「社会的儀礼」であり、効果も特定の宗教を援助したり、圧迫したりするものではないとして、知事らの参列については合憲と判断。04年には即位礼正殿の儀への参列も同様に合憲とした。

<代替わり考 皇位継承のかたち> (5) 高御座「象徴」か「神聖」か

東京新聞 2019年1月12日 朝刊

高御座に立つ天皇陛下を見上げる形で、万歳を三唱する海部俊樹首相(当時) = 1990年11月12日、皇居・正殿「松の間」で



十月二十二日の「即位礼正殿の儀」は、海外の国王戴冠式や大統領就任式にあたるハイライトだ。多くの要人を招き、新天皇が内外に即位を宣言する。参考とされる前回は、戦後初とあって、伝統を尊重しつつ憲法や時代状況との調和をどう図るかが課題だった。

「総理大臣が穴ぐらから天皇を見上げるような形になる。海外の賓客がたくさん来ている中で、さすがにありえなかった」。前回の代替わり儀式を仕切った元内閣官房副長官の石原信雄(92)は、当初の宮内庁案に早々と見切りを付けた。

宮内庁案は、明治期に制定の登極令(とうきょくれい)と同附式に基づき、京都御所で行われた大正、昭和天皇の例を踏襲していた。首相は紫宸殿(ししんでん)の庭で、殿上の高御座(たかみくら)に立つ天皇の勅語(ちよくご)を聞く。次に階段を上がり、祝いの言葉を述べ、再び庭に下りて万歳を三唱する一。君主

と忠誠を誓う臣下の上下関係をあからさまに表していた。

今回は初めて東京に場所を移し、皇居・宮殿の正殿を会場とした。正殿の床は中庭から三・七メートルの高さがある。高御座に登壇する天皇の立ち位置は、床から一・三メートル。首相が中庭に立つと、天皇との高低差は五メートルにも及ぶ。中庭は建物に囲まれ、石原が「穴ぐら」と表現した情景が浮かぶ。

本番で首相の海部俊樹は、陛下と同じフロアに立って祝いの言葉を述べ、万歳を三唱した。陛下との高低差は、高御座の使用に伴う一・三メートルにとどまった。

高御座は歴代天皇の即位式で皇位を象徴する玉座として使用され、中央の天皇の椅子のそばに三種の神器の劔璽（けんじ）も置かれる。政府は高御座を皇室伝統の「調度」と説明する。しかし、登壇する天皇の姿が「天孫降臨神話を具現化している」と宗教色を指摘する声も少なくない。

憲法学者の笹川紀勝（78）は、政府の式典関与や天皇と首相の高低差を「憲法の政教分離と国民主権の原則に反する」と批判し、高御座の使用に反対する。「皇室行事として天皇家の私的費用で行うなら構わないが、国費を支出し、公務員が関与することは憲法上、許されない」と話す。

皇室文化研究家の所功（77）は、即位式を「日本という国の品格や文化を内外にアピールする場でもある」ととらえる。およそ百年前に京都で伝統技術の粋を集めて製作された高御座は、儀式を華やかに演出する効果がある。「国の行事として象徴天皇の威厳を示すことが重要であり、高御座は不可欠だ」と強調する。

即位式は明治期に長い伝統だった唐風の装束やデザイン、真言密教の所作や香をたきあげる火爐（ろ）などを取りやめ、様式が一新された。現代の形は、どうあるのがいいか。時代とともに見直しを求める声もある。＝敬称略

<高御座（たかみくら）> 奈良時代以降、天皇の即位式で使用。明治天皇は焼失した高御座の代わりに御帳台を使った。1915年の大正天皇の即位式のため、現在の高御座を製作。黒漆塗りの台（幅6メートル、奥行き5.4メートル、高さ0.9メートル）に豪華に装飾した屋形（やかた）を載せたような構造で、屋根の飾りを含めた高さは6.5メートル、重さ8トン。今回は過激派の攻撃対象とされ、保管場所の京都御所で解体し、極秘裏に自衛隊のヘリで都内に空輸した。今回は「世間の情勢が平穏になった」（宮内庁）として陸送した。

<代替わり考 皇位継承のかたち> (6) 即位儀式で「神器」継承

東京新聞 2019年1月13日 朝刊

前回の劔璽等承継の儀で、天皇陛下が引き継がれた劔（手前）と璽（じ）＝1989年1月7日



「勾玉（まがたま）は決して重いものではなかった」。昭和の時代が終わろうとする一九八九年一月七日午前、皇居・宮殿「松の間」で新天皇が皇位を継承する「劔璽（けんじ）等承継の儀」が行われた。昭和天皇の侍従だった中村賢二郎（85）は、「三種の神器（じんぎ）」の一つとされる勾玉（璽（じ））を収めた木箱を昭和天皇の住まいから持参する役目を果たした。

モーニングコートを着用していた中村は、松の間に入室する直前、木箱を持つ右手の袖を直そうと、腕を少し振った。その瞬間の感触はいまでも覚えている。「玉の塊（かたまり）のようなものがコロリと転がる音がした」

三種の神器は、「天孫降臨神話」に由来する鏡と劔と勾玉を指す。明治期に制定の旧皇室典範は「祖宗（そそう）ノ神器」と規定し、公的な存在に位置づけていた。祖宗は天照大神（あまてらすおおみかみ）から始まり、先帝に至る天皇の祖先のことだ。神器が神から授けられ、万世一系の皇統の証しとして、歴代天皇に受け継がれてきたことを意味する。

なかでも鏡は別格で、天照大神の御霊代（みたましろ）として、宮中三殿の賢所（かしこどころ）に祀（まつ）られてきた。新天皇が劔と勾玉を継承する儀式を行うとき、ほぼ同時刻に賢所でも新天皇の代わりに掌典長（しょうてんちょう）が天照大神（鏡）に即位を報告する儀式が行われてきた。

戦後は皇室典範から神器の記述が消え、鏡と劔と勾玉はいずれも皇室経済法に定める「皇位とともに伝わるべき由緒ある物」とされている。法律上は、神聖だったレガリア（皇位のしるし）から、由緒物へと解釈が変わった。それでも神器は木箱に収められ、だれも中を直接見てはいけないとされている。

儀式の名称は戦前、宗教色のある「渡御（とぎよ）」を用いて「劔璽渡御の儀」と称したが、前回から「劔璽等承継の儀」と改められた。当時の政府関係者によると、「等」を挿入したのは、劔璽だけでなく、国璽（国の印）と御璽（天皇の印）や、その他の由緒物なども含むという意味を込めた。

今回は天皇陛下の退位に関する皇室典範特例法と政令に基づいて、皇太子さまが五月一日に即位する。同日中に劔璽等承継の儀を政府が責任を負う国事行為として実施し、宗教色の強い「賢所の儀」などは皇室行事として行われる。

前例を踏襲した政府の分離折衷案に対し、法学者や神道界など立場の違う人たちに、依然として異論や不満の声もある。

九州大学名誉教授の横田耕一（憲法学）は、劔璽等承継の儀を国事行為とすることに反対する。「神器の承継によって即位するという考え方がおかしい。それは天照大神の神勅を皇位の根拠とした明治憲法の立場であって、象徴天皇の地位を国民の総意に基づくと定めている日本国憲法と合致しない」と指摘する。

伝統尊重派の学者らは「今回も劔璽等承継の儀が国事行為とさ

れたことは評価できる」としつつ、「本来なら、『賢所の儀』と一体的に国事行為とするのが望ましい姿だ」などと話している。
＝敬称略

<三種の神器> 古事記や日本書紀によると、天照大神が孫のニギノミコトに日本統治を命じて地上に降臨させた際、八咫鏡（やたのかがみ）、草薙剣（くさなぎのつるぎ）、八咫瓊勾玉（やさかにのまがたま）の神器を授けた。鏡と剣は形代（レプリカ）が作られ、これを含め、3種5個の神器があるとされる。2つの形代と八咫瓊勾玉は宮中に置かれ、八咫鏡は伊勢神宮、草薙剣は熱田神宮にまつられた。天皇の所持する剣は、源平合戦で壇ノ浦の海に沈み、伊勢神宮から代わりの剣が贈られたとの説がある。明治天皇は南北朝時代の皇統をめぐる論争で、神器を所持した南朝を正統とした。

●は国の行事 ○は皇室行事 戦前、戦後の皇位継承儀式	戦前 「踐祚(せんそ)の式」 (大正、昭和)	前回 「即位の礼」の前半部分 (平成)
	1 剣璽渡御の儀 剣と璽を継承	1 剣璽等承継の儀 剣璽、天皇御璽と大日本国璽など継承
	2 踐祚後朝見の儀 新天皇が三権の長ら国民代表と会う	2 即位後朝見の儀 同
	3 賢所の儀 天照大神の分身の鏡に即位を報告	3 賢所の儀 同
	4 皇霊殿・神殿に奉告の儀 天皇の祖先の霊と八百万の神々に即位を報告	4 皇霊殿・神殿に奉告の儀 同

<代替わり考 皇位継承のかたち> (7) 女性天皇論議を封印か

東京新聞 2019年1月14日 朝刊

「歌会始の儀」に出席された皇后さま、女性皇族方＝2018年1月、皇居・宮殿「松の間」で



「新しい天皇の誕生を確認する最初の儀式だ。女性皇族を参列させないのは、おかしい」。皇室研究家の高森明勲（あきのり）（61）は、五月一日の皇位継承儀式「剣璽（けんじ）等承継の儀」を巡って、政府方針に疑問を投げかける。内閣官房長官の菅義偉（すがよしひで）は昨春、前例を踏襲して皇族の参列を男性に限る方針を発表していた。

剣璽等承継の儀は、三十にも及ぶ一連の即位儀式の皮切りとなる。宮内庁刊行の平成大礼記録には「皇位とともに伝わるべき物を承継する儀式」であるため、「皇位継承権を有する皇族男子」に限定したと記している。今回もこれが政府の見解だ。

前回は男性の成人皇族が六人出席したが、今回の対象者は秋篠宮さまと常陸宮さまの二人だけになってしまう。皇室文化研究家の所功（ところいさお）（77）は「皇后をはじめ、すべての皇族の方々が重要儀式に参列することが大切だ」と強調する。現代は映像で儀式の様子が世界に流れる時代であり、「女性皇族を参列させないのは、誤解を招きかねない」と懸念を示す。

剣璽等承継の儀は、憲法で「内閣が責任を負う」と定める国事

行為として行われる。前例の踏襲であるとしても、政府が自ら男女平等の社会理念に反する方針を選択したことに疑問の声は少なくない。

高森は「政府方針は、女性を排除していた時代のロジックだ」と指摘する。前回まで儀式の規範としたのは、明治期に制定された登極令（とうきょくれい）附式などだ。それらは女性参政権がまだまだ認められず、皇室の重要事項を審議する皇族会議（現・皇室会議）の出席も男性に限られた時代の法令だ。

三十年前の前回は、早朝の昭和天皇の逝去から、わずか三時間半後に剣璽等承継の儀が行われた。元内閣官房副長官の石原信雄（92）は「登極令には、この儀式について女性皇族のことが書かれていない。女性皇族の出欠は議論にもならず、良い悪いではなく、時間的な制約の中で結論を出した」と振り返る。

今回は皇太子さまの五月一日の即位日があらかじめ昨年十二月に決まり、時間的な余裕は十分にあった。だが政府は、国民的な議論もなく、剣璽等承継の儀への参列者から女性皇族を除外する方針を早々と打ち出した。

高森は「本音では、女性・女系天皇の議論に飛び火することを恐れているのではないかと政府の姿勢をいぶかる。所も同様の見方を示し、「法律で皇位継承権を男性皇族に限っていることと、女性皇族の参列を拒むことは、本質的に意味が違う。冷静な議論が必要だ」と話す。

明治以降、終身在位を前提とした天皇の代替わりは、二〇一六年八月の天皇陛下のビデオメッセージが一石を投じる形となって、大きな転換期を迎えようとしている。社会は超少子高齢化の時代に入り、皇室は男性皇族の減少に直面する。現状を見ずえ、これからの時代の象徴天皇にふさわしい皇位継承の形とは何か、国民的な議論が求められている。＝敬称略

<女性・女系天皇と女性宮家> 有史以来、男系男子が皇位を継承し、例外的に8人10代の女性天皇がいるが、いずれも父方に天皇を持つ男系の女性天皇だったとされる。女系天皇は、母方の先祖のみに天皇がいる。

2005年に当時の小泉純一郎首相の諮問機関が、女性・女系天皇を容認する報告書をまとめた。法案化を目指したが見送られ、その後は動きがない。皇室典範では、女性皇族が天皇、皇族以外と結婚したときは皇籍（皇族の身分）を離れる。皇室活動を安定的に維持する一環として、女性皇族が結婚後も皇室にとどまり、宮家当主とする案が検討されたが、女系天皇容認につながりかねないとして、保守層に反対論が根強い。

（この連載は編集委員・吉原康和、阿部博行が担当しました）
＝おわり